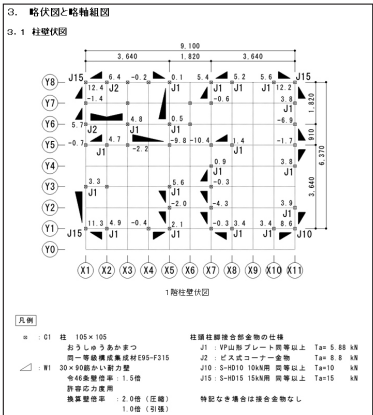
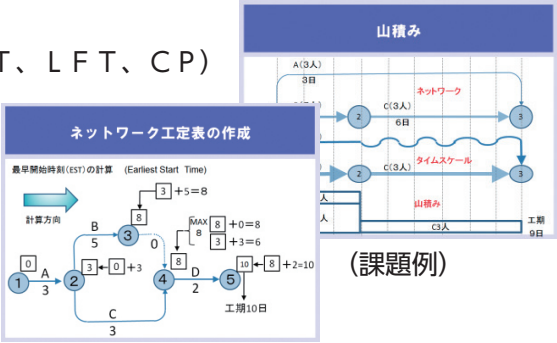


木造住宅の構造計算を学ぼう

コース名	木造住宅における許容応力度設計技術（準備計算編）				
コース番号	6H071	日程	10/7(金)・14(金)	時間	9:00~16:00 (合計12時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	11,000円
訓練目標	木質構造設計の生産性の向上をめざして、適正化、安全性向上に向けた構造設計段階における許容応力度設計実習を通して、許容応力度計算における理論的な根拠・ポイントの技術を習得します。				
対象者	木造在来構法の許容応力度計算を習得したい方にお勧めします。 (木造在来構法の設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	1. 荷重・外力 (1)構造関係規定 (2)荷重・外力の算定と組合せ (3)地震力の考え方 (4)荷重・外力の計算演習 2. 鉛直構面の設計実習 (1)耐力壁の壁倍率と許容応力度の関係 (2)鉛直構面の設計実習 (3)建物バランス 3. 水平構面の設計実習 (1)水平構面の負担水平力と許容応力度の算定 (2)水平構面の設計実習 4. 部材の設計実習 (1)木材の許容応力度 (2)荷重継続時間と荷重・外力の組合せの関係 (3)部材の荷重伝達機構 (4)部材の応力算定実習			 <p>(資料例)</p>	
使用機器	パソコン				
持参品	筆記用具、関数電卓				

これでネットワーク工程表は怖くない！

コース名	ネットワーク工程管理実践技術				
コース番号	6H081	日程	R5.2/7(火)・14(火)	時間	13:00~16:00 (合計12時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	7,000円
訓練目標	施工計画・施工管理の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた計算演習を通して、実践的なネットワークプランニング手法による工程表作成技術を習得します。				
対象者	ネットワーク工程表を活用した管理を行いたい方にお勧めします。 (建設業の施工管理業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者)				
内容	1. 工程管理の概要 (1)工程管理の目的 (2)工程計画（採算速度と経済速度） (3)各種工程表の特徴及び事例紹介 2. ネットワークの概要及び時刻計算 (1)ネットワークの概要（利点と表示内容） (2)時刻計算演習1（EST、EFT、LST、LFT、CP） (3)時刻計算演習2（TF、FF、DF） 3. 工期調節 (1)スケジューリング手法及び計算実習 (2)フォローアップ手法及び計算実習 4. マンパワースケジューリング (1)山積みの手法及び計算実習 (2)山崩しの手法及び計算実習			 <p>(課題例)</p>	
使用機器	電卓				
持参品	筆記用具、電卓				